

担い手の育成

要約

農業の担い手を確保するため、人・農地プランの作成・見直しの支援、認定農業者・中心経営体の経営改善支援、集落営農法人に対する活動支援ならびに集落営農に関心のある集落に対して集落営農への誘導を行った。

現状(背景)と課題

- ・人・農地プラン策定数は18、今後の地域の中心経営体として420名が位置づけられている。また、認定農業者数は262名、集落営農組織は1法人。
- ・地域の将来の担い手は十分に確保されていない。

目標

- ・人・農地プラン策定数：19
- ・中心経営体数：425名
- ・認定農業者数：264名
- ・集落営農に向けた話し合い：1集落

活動内容

- ・各地区の人・農地プランの話し合いに出席。
- ・認定農業者の更新や新規申請にかかる経営改善計画の作成支援、中心経営体が活用する補助事業の計画作成や資金利用の計画作成の支援。
- ・獣害対策をテーマとした担い手支援セミナーの開催。
- ・集落役員との打ち合わせによる集落営農への誘導。

成果

- ・新たに大淀町佐名伝・薬水地区で人・農地プランが作成された。
- ・人・農地プランの作成・見直しが行われ、中心経営体数が474名となった。
- ・認定農業者数が2名増加し、266名となった。
- ・集落営農に関心のある五條市の集落役員と打ち合わせを行い、集落の農地や担い手の現状を把握した。



人・農地プラン検討会（五條市西吉野地区）



経営改善計画作成支援

南部農林振興事務所農業普及課
担当：担い手・農地マネジメント係 堀野、萩原、門
奈良の意欲ある担い手支援事業
農業経営基盤強化促進対策事業
地域農業担い手確保支援事業

普及活動のポイント

- ・人・農地プランの作成、見直しについては、市町村と連携して地区の話し合いに参加し、関係機関とともに助言や情報提供を行った。
- ・中心経営体や認定農業者に対しては、経営改善のための助言指導やニーズにあった各種事業や制度資金に関する情報提供を行った。
- ・集落営農に関心のある集落の掘り起こしのための推進リーフレットを作成した。

対象の変化

- ・中心経営体については、補助事業を活用することにより経営改善を図ることができた。
- ・認定農業者については、経営改善計画を作成することで5年後の目標達成に向けての課題を認識してもらうことができた。
- ・集落の役員等の地域リーダーは、今後の集落の農地の管理方法について、より危機感を持って考えるようになった。

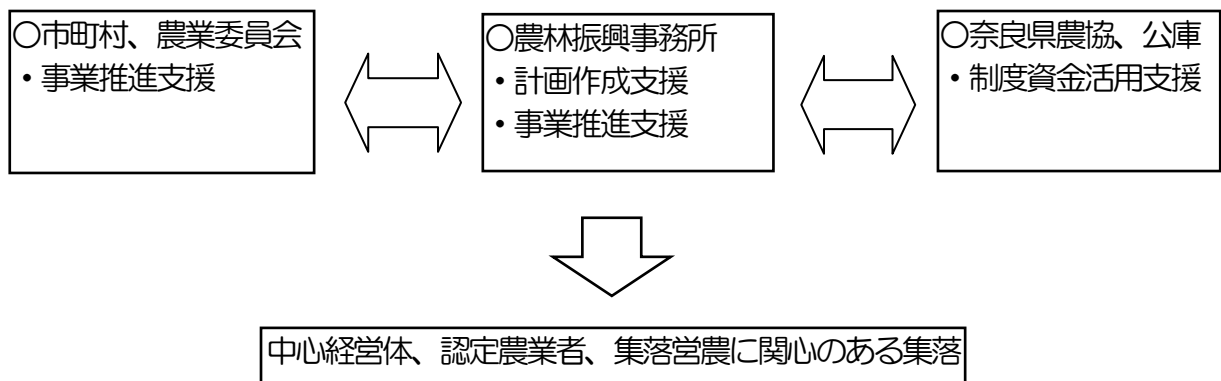
対象者からのコメント

- ・経営改善計画の作成の際には、課題や目標達成に向けた解決策についての助言や各種支援策についての情報を得ることができた。

これからの活動ビジョン

- ・人・農地プランの作成・見直しや中心経営体、認定農業者に対して継続して支援を行う。
- ・集落営農を志向する集落が増加しており、それぞれの問題点を把握して集落営農へ誘導する。

活動体制



用語解説

人・農地プラン

集落や地域の将来の人と農地のあり方について記載した計画書（未来の設計図）で集落や地域の話し合いにより作成する。

経営改善計画

農業者が農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画。